

令和2年度 福岡教育大学 未来を拓く合理的配慮提供×ICT 研修会

障害者権利条約（2007年）に日本が署名し、障害者差別解消法の施行（2017年）を経て、公立学校では障害による差別の禁止と合理的配慮が義務づけられました。小学校・中学校の義務教育段階から、後期中等教育（高等学校）へと移行し、高等教育へと育ちゆく子どもの学びの場での幸福に向け、合理的配慮の提供も求められ、国と自治体が予算を確保し支援しています。それを教育現場でどのように支えるかという点に、経験値を積むことが求められています。ICTを活用した合理的配慮・高校入試・大学入試やその後の学生支援で最先端の先生方にお話しいただきます。合理的配慮提供の実現に向け、共に学びましょう。

記

日時： 令和2年11月14日（土）9：30開場，10：00開会

場所： 福岡教育大学 アカデミックホール(対面)およびZoom(オンライン)

内容： **研修1**「ICTを活用した授業づくり(仮題)」，**研修2**「高等教育における合理的配慮提供の実際」，**研修3**「進路を拓く合理的配慮の提供フォーラム」

対象： ご関心のある学校関係者や一般市民のかたがた

費用： 無料（対面・オンラインいずれの参加方法も無料。対面は人数制限があります）

申込： 資料作成の都合上、参加の方は11/13までに下記アドレスにご連絡ください。

記載内容:①氏名,②所属,③連絡先(メールアドレス),④希望の研修番号(研修1~3),⑤参加方法

主催： 福岡教育大学 担当： 教職大学院生徒指導・教育相談リーダーコース

スケジュール： ※ 当日の日程については若干の変更がある可能性があります。

時間（部屋）	概要	講師
10：00～11：30 (アカデミックホール)	研修1 「できた」「わかった」「もっとやりたい」を引き出すためのICTを活用した授業づくり(仮)	木田 啓二 先生 (佐賀県公立小学校教諭)
各自昼食休憩（アカデミックホール）：デジタル教科書の展示（後方）		
12：45～14：45 (アカデミックホール)	研修2 大学における合理的配慮にもとづく障害学生支援の現状と課題 ～進学前の準備や留意事項～	竹田 一則 先生 (筑波大学教授)
14：45～15：00	休憩	
15：00～16：30 (アカデミックホール)	研修3 Forum: 進路を拓く合理的配慮提供	登壇者：木田啓二先生・竹田一則先生・中山健先生(福岡教育大学) 前沢直樹様(光村図書) 司会： コーディネーター：納富恵子(福岡教育大学)
16：30～17：00	デジタル教科書の展示（アカデミックホール後方）	

木田啓二先生:佐賀県公立小学校教諭
通常学級・特別支援学級担任，佐賀県教育センター指導主事を経て，現在に至る。特別支援学級(知的)の経験が長く，子どもの力を引き出す，環境調整の一つとしてICTの活用に取り組む。特別支援教育でICT活用を推進する研究団体「佐賀のLAN」を主宰する。

竹田一則先生:筑波大学人間系人間学群障害科学類教授
筑波大学で高等教育における障害学生支援を実践と研究の両面から推進する。著書に「よくわかる！大学における障害学生支援」などがある。

中山健先生:福岡教育大学特別支援教育ユニット
日本版DN-CASの開発に関わるなど，通常学級の特別支援教育の実践と研究を推進し，自治体等への支援も行う。

担当 福岡教育大学教職大学院 生徒指導・教育相談リーダーコース（脇田・小泉・西山・納富）
お問い合わせ先：納富・西山 メール：notomi@fukuoka-edu.ac.jp